

地域問題特論Ⅶ

担当者 加藤 司

開講時期 後期 単 位 1

「小売業におけるチェーン・システムの解明」

●講義の概要

近年、小売業が直面している課題の一つは、従来の本部主導型＝中央集権的なチェーンオペレーションの見直しである。中央集権的なオペレーションに分権的な「個店」対応のシステムを導入することであるが、簡単ではない。なぜ、こうした変化が求められるようになったか、このことは小売業にとってのもう一つのチェーンオペレーションである取引先の卸売業、メーカーまで遡るサプライチェーンにどのような影響を与えるかを、流通の現場ならびに文献研究を通じて明らかにすることにしたい。

●講義の到達目標

本講義では、商業、流通に関して近年注目されている「チェーン・システム」に関して、その理論的問題についての理解を深めることにしたい。多様な小売業態の経営を支える共通の基盤としてのチェーンオペレーションの仕組みを学ぶとともに、取引先である卸売業、メーカーまで遡るサプライチェーンの構築に関連する理論的問題についての理解を深める。

この問題に関連する内外の研究について、基礎的文献を読破しながら、博士論文の作成に必要な基礎的知識と専門知識を修得する。

●講義計画

- 第1回：小売業にとってのチェーン・システムの仕組み
- 第2回：多様な小売業態を支えるチェーンオペレーション
- 第3回：チェーンオペレーションと個店対応との対立
- 第4回：サプライチェーン導入の背景
- 第5回：PBの導入とサプライチェーンの再構築
- 第6回：Potterのバリューチェーン（VC）
- 第7回：VCを用いた事例研究
- 第8回：流通システムの分析枠組み（まとめ）

●成績評価基準と方法

(1)成績評価基準

- ① チェーンオペレーションの仕組みを理解しているか。
- ② サプライチェーンの再構築を説明できるか。
- ③ 流通システムの分析枠組みを理解したか。

(2)評価方法

- ① 講義での発言など参加度 30%
- ② 期末レポート 70%

出席と講義への貢献度、ならびに提出されたレポートを総合的に判断して評価する。

●テキスト又は参考文献

テキスト 大阪市立大学商学部編『ビジネス・エッセンシャルズ (5) 流通』有斐閣、2002

参考文献 加藤 司著『日本的流通システムの動態』千倉書房、2006

受講者の研究テーマに応じて、適宜指示する。

●受講上の留意点

問題意識を明確にするとともに、博士論文のクオリティを高めるためには、他の研究者との議論が不可欠である。積極的に議論に参加することが求められる。